

平成24年度 第1回 美里町政策評価委員会

年 月 日	平成24年10月31日
場 所	宮城大学交流センター3階ラウンジ
開 始 時 間	午前・午後 9時00分
出 席 委 員	委員長 徳永 幸之 副委員長 西川 正純 委員 塩野 悦子 委員 古川 隆
欠 席 委 員	なし
職務のため出席した者の職氏名	副 町 長 木 村 豊 秋 まちづくり推進課長 武 田 啓 一 産業振興課長 佐々木 榮 一 産業振興課主幹 繁 泉 久 弥 産業振興課主事 木 村 敏 産業振興課商工観光室長 佐々木 さとみ 子ども家庭課長 安 部 直 司 企画財政課長 須 田 政 好 企画財政課係長 小 林 誠 樹 企画財政課主事 笹 川 智 哉
報告・協議事項	(1) 政策評価の取組方針及び実施方法等について (2) 評価対象政策及び担当委員の調整について (3) 今後のスケジュールについて (4) その他
終 了 時 間	午前・午後 10時05分

【 次 第 】

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 委員紹介
- 4 委員長及び副委員長選任
- 5 報告・協議
  - (1) 政策評価の取組方針及び実施方法等について
  - (2) 評価対象政策及び担当委員の調整について
  - (3) 今後のスケジュールについて
  - (4) その他
- 6 閉 会

## 1 開会

—午前9時 開会—

## 2 挨拶

(木村副町長挨拶)

## 3 委員紹介

(委員の名前を読み上げて紹介)

## 4 委員長及び副委員長選任

(委員長に宮城大学事業構想学部の徳永幸之教授、副委員長に宮城大学食産業学部の西川正純教授が選出)

## 5 協議・報告

(徳永委員長が挨拶)

### (1) 政策評価の取組方針及び実施方法等について

徳永委員長            それでは、協議に入ります。  
                              まず、「(1) 政策評価の取組方針及び実施方法等について」事務局より説明をお願いします。

小林係長                (資料2、資料3、資料4、資料5、資料6、資料7、事務事業一覧表(再編後)、政策・施策形成に係る事務事業編成シートに基づいて説明)

徳永委員長            説明内容に対して意見、質問等ございませんか。

(意見・質疑なし)

徳永委員長            資料7「政策・施策形成に係る事務事業編成シート」については、必ずしもすべての事業がこのかたちで整理できるかどうか分からない部分があります。今回、すでに各施策についてまとめられていますが、評価を進めいく中で、気づいた点等あれば、今後シートを微修正していくことも必要かと思いますが、その点いかがでしょうか。

小林係長                今回の政策評価では、事務事業編成シートごとに評価を頂くことを基本に想定しておりますが、委員長ご指摘のとおり、相互に連携し合う施策も多々あり、複数の施策をまとめた方が良いケースがあると思います

ので、その点については、状況に応じて柔軟に対応して頂いて結構です。

徳永委員長

はい。了解しました。

では次に「(2) 評価対象政策及び担当委員の調整について」事務局より説明をお願いします。

小林係長

(資料8に基づいて説明)

徳永委員長

説明内容に対して意見、質問等ございませんか。

西川委員

私が担当します評価対象施策のうち、農林業、特に水田農業については専門外であるため、専門の先生からご意見をいただきながら私なりに評価したいと考えているのですが、例えば、農産物の有効利用という意味で産業的な視点からの評価でもよろしいでしょうか。

小林係長

町としましても、見直し後の総合計画では、農商工連携や農業の6次産業化といった内容を強く意識しておりますので、そのような観点から評価して頂いて結構です。

徳永委員長

先ほどの資料4の歯車の図では、政策が一番大きな歯車として描かれていましたが、資料6にありますように24の政策の上に5つの分野があります。場合によっては、個別の事務事業ではなく、もっと大きな視点から評価することも必要なことなので、この5つの分野がきちんと噛み合っていて回っているかも見ていく必要があると思いますし、更には「人つどい、共に築く、幸せと豊かさを実感できる町」に繋がっていくものであるかも考えながら評価していきたいと思います。そのためには、政策同士が同じ方向を向いているか、邪魔をしていないかも見ていく必要があると思いますので、ここで提示された政策だけではなく、ほかの政策について見ていただくことも必要かと思います。提示された政策を通して、全体に目を配っていければよいのではないかと思います。

古川委員

委員長の意見と関連しますが、私の担当が政策20「住民活動の促進」となっておりますが、政策19「定住化の促進」は住民活動の推進によって達成される少し大きな歯車だと思いますし、政策21「交流の促進」も定住化の促進と繋がりが深いものだと思います。これらは非常に関連性が強いと思いますので、政策20を中心に見ていきますが、政策19と21も見なければいけないと思います。それらの歯車が噛み合っているかも見ていかなければいけないと思いました。



## 6 閉会

－午前10時05分 開会－

※ 閉会后、各委員と評価対象である担当課が、今後の内容を確認する。終了時刻11時30分

記録者 : 企画財政課 笹川 智哉